

環境報告書

2008年度

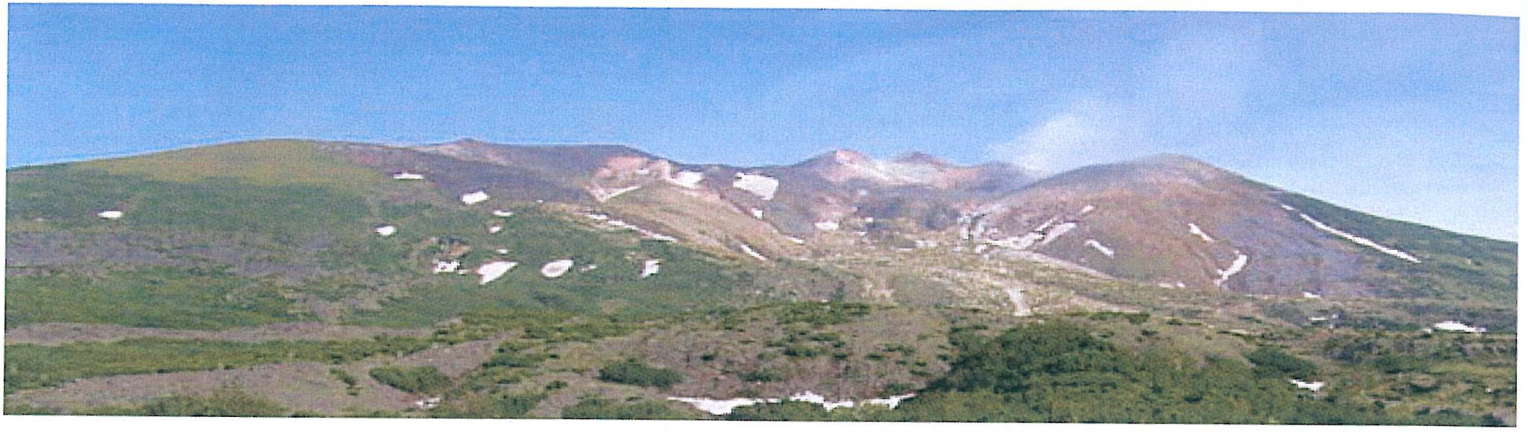
(2007年4月1日～2008年3月31日)



〔比叡山からの琵琶湖〕

株式会社 カネカ

滋賀工場



ごあいさつ

当社は「人・社会・環境との調和のもとに、優れた技術で暮らしに役立つ製品やサービスを提供し、世界の人びとに貢献します」を企業理念としています。この企業理念に基づき、当社は、良き市民の一員として、企業活動が地球環境と人々の生活環境に及ぼす影響に注目して、製品の開発から、原料の購入、製造、流通、使用、消費、廃棄に至る製品の全ライフサイクルにおいて、資源の保全、環境負荷の低減による環境保護、保安防災、労働安全衛生、製品安全、廃棄物の減量に努めることにより、社会の持続的発展と豊かな社会の実現を目指しています。

滋賀工場は、昭和24年の当社創業以来、近江の文化、風土と共生し、琵琶湖の恵みを受け、事業活動を展開してまいりました。この間、幾多の事業の改廃がありましたが、21世紀を迎えた今、化学技術をベースとしたエレクトロニクス素材の生産工場として、社会貢献を続けています。

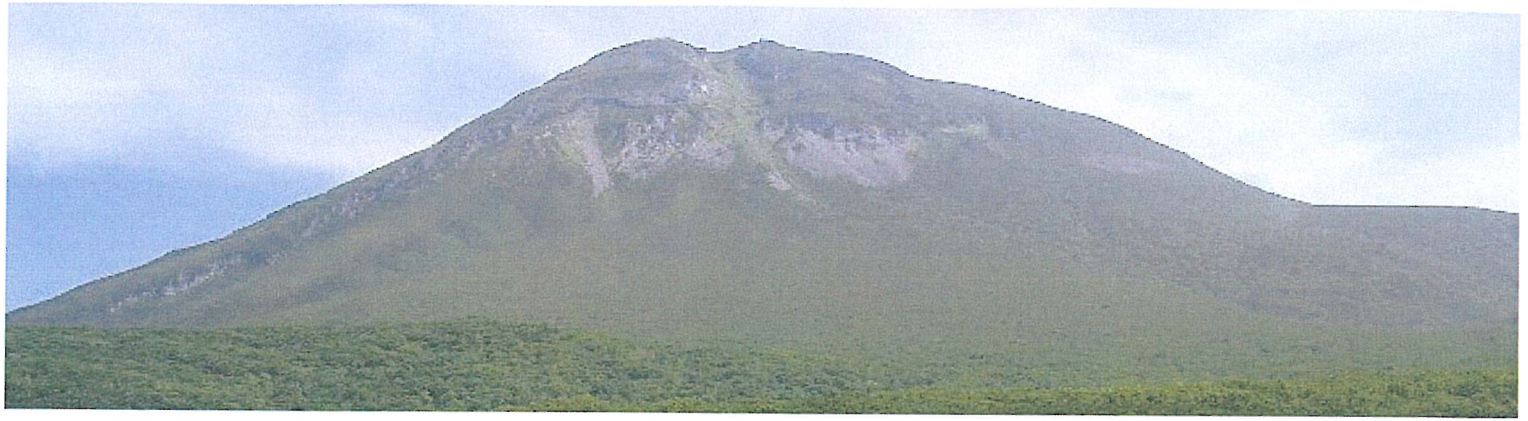
近年、地球規模での温暖化や環境汚染が問題となっておりますが、当工場では1998年に認証取得しましたISO14001の環境マネジメントシステムやレスポンシブル・ケア活動を有効に運用することにより、自然環境にやさしい工場を目指し、地域と社会との共生に取り組んでまいりますので、これからもよろしくご厚意申し上げます。

この報告書が、当工場の環境保全、社会貢献活動について、皆様にご理解いただく一助となれば幸いです。



株式会社 カネカ 滋賀工場

工場長 久保田 廣



滋賀工場は比叡山の麓、琵琶湖の畔、恵まれた環境の中、化学技術をベースにユニークなエレクトロニクス素材を開発・生産しています。私たちは、自然環境にやさしい工場をめざすとともに、常に安全を確保し、地域社会との共生に努めています。

1. 環境方針

1998年ISO14001を認証取得して10年、継続的な環境改善を図ってきており、2008年4月にブラッシュアップした環境方針により活動を継続しています。



株式会社 カネカ 滋賀工場 環境方針

滋賀工場は『安全は何事にも優先し、環境保全・保安防災のレベル向上は地域社会との信頼の絆である』との基本方針のもと琵琶湖及び住宅地域に隣接している現況に鑑み、地球環境の保護と隣接地域への環境保全は企業の責務と認識し、当工場の生産・技術開発にともなう全ての活動が及ぼす環境への影響を少なくするための施策を推進します。

1. 当工場の活動・製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的及び目標を定め、環境活動を全員で取り組み、継続的改善及び汚染の予防を図ります。
2. 環境関連法令及び地域との協定を含めたその他要求事項を順守します。
さらに必要に応じて自主管理基準を設定し、環境保全・改善に努めます。
3. 活動・製品及びサービスに係わる、次の項目を重点に環境保全・改善活動に取り組みます。
 - ①工場全般の省エネルギー活動を積極推進し、エネルギー原単位指数を向上させ地球温暖化ガス排出量の削減に取り組みます。
 - ②製造工程から発生する揮発性有機化合物（VOC）の大気環境への排出濃度、排出量の削減に取り組みます。
 - ③琵琶湖への排水は水質汚濁に関連する法令及び地域との協定に定める物質について、排出濃度及び汚濁負荷量等の基準を順守するとともに削減に努めます。
 - ④廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）のうちリデュース（発生量の削減）と埋立廃棄物量削減に努めゼロエミッションの継続達成をします。
 - ⑤環境負荷を低減する製品開発・技術開発を行い、一つ一つの原料から安全な環境配慮製品（グリーン製品）を生産していきます。
 - ⑥従業員の環境意識の高揚に努めるとともに、地域社会奉仕として琵琶湖岸清掃活動等への参画を行い社会に貢献します。
4. 緊急事態に備え設備の維持管理と訓練を定期的実施し、危機管理の向上を図ります。
5. 環境方針及び環境目的・目標は、工場・関連協力会社を含む全従業員に周知し、意識の向上を図ります。
6. 環境方針及び環境目的・目標は定期的に見直し、必要に応じて改訂します。

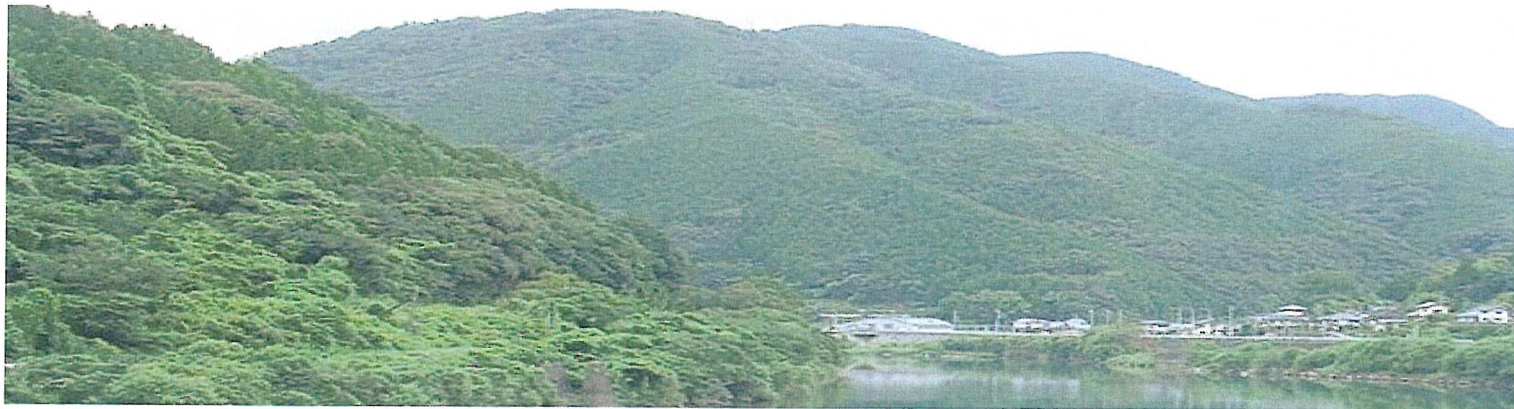
～この環境方針は外部からの要求に応じて提供します～

2008年 4月 1日
株式会社 カネカ 滋賀工場

工場長 久保田 廣



文書番号 SKK-PKZ002/05



2. 組織

環境マネジメントシステムを効果的、効率的に推進するための「環境マネジメントシステム組織」により活動を行っています。

